

報道関係者各位



一般社団法人モバイルコンテンツ審査・運用監視機構

「青少年被害が急増している ID 交換掲示板に関して対応すべき青少年保護施策」 の公開について

一般社団法人モバイルコンテンツ審査・運用監視機構（以下「EMA」）では、青少年の保護と健全な育成を目的とした認定制度を実施し、新たな技術やサービス、通信機器等の普及に伴い青少年のインターネット利用環境が変化することに応じて、認定制度や認定基準の検討を随時行っております。

この度、「青少年被害が急増している ID 交換掲示板に関して対応すべき青少年保護施策」について報告書（＜別紙＞参照）を公開いたしましたのでご報告申し上げます。

➤ ＜別紙＞

青少年被害が急増している ID 交換掲示板に関して対応すべき青少年保護施策について
http://www.ema.or.jp/press/2014/0530_04.pdf

要旨

近年、コミュニティサイトに起因する犯罪被害の児童数が、警察庁の調査開始以来、最多となっており、その原因の一つとして「ID 交換掲示板」が挙げられています。

この度、EMA では、「ID 交換掲示板」の特性と利用実態について調査を実施するとともに、青少年の利用環境改善のため OS 事業者との取り組みを開始しました。

このような状況で青少年が「ID 交換掲示板」を利用して犯罪被害に巻き込まれないためには、スマートフォン等においてもフィルタリング等の利用制限機能を利用することが有効であるため、青少年と保護者・学校・事業者等の関係者が実行すべきポイントをまとめましたので、公表いたします。

＜アジェンダ＞

1. はじめに
2. 事犯に繋がる原因の考察
3. ID 交換掲示板に関する調査の概要
4. ID 交換掲示板に関する調査の結果
5. 青少年と保護者・学校・事業者等の関係者が対応すべきこと
6. EMA の取組み

EMA では引き続き、認定制度や啓発・教育などの活動を通じ、モバイルコンテンツの健全な発展と、青少年保護と健全な育成を実現するインターネット利用環境におけるセーフティネットの整備を推進して参ります。

以上

本プレスリリースに関するお問合せ先
一般社団法人モバイルコンテンツ審査・運用監視機構
事務局 広報担当：岸原、清水
〒106-0031 東京都港区西麻布1-4-38 千歳ビル3F
電話番号：03-6913-9235 FAX：03-5775-3885
<http://www.ema.or.jp/>
e-mail:info@ema.or.jp

< 別紙 >

青少年被害が急増している ID 交換掲示板に関して

対応すべき青少年保護施策について

一般社団法人モバイルコンテンツ審査・運用監視機構

近年、コミュニティサイトに起因する犯罪被害の児童数が、警察庁の調査開始以来、最多となっており、その原因の一つとして「ID 交換掲示板」が挙げられています。

この度、EMA では、「ID 交換掲示板」の特性と利用実態について調査を実施するとともに、青少年の利用環境改善のため OS 事業者との取り組みを開始しました。

このような状況で青少年が「ID 交換掲示板」を利用して犯罪被害に巻き込まれないためには、スマートフォン等においてもフィルタリング等の利用制限機能を利用することが有効であるため、青少年と保護者・学校・事業者等の関係者が実行すべきポイントをまとめましたので、公表いたします。

1. はじめに

コミュニティサイトに起因して犯罪被害に遭った児童の数は、平成 23 年から減少傾向であったが、平成 24 年の後半から増加傾向となり、平成 25 年は、警察庁の調査開始以来、最多となってしまった。

警察庁は、増加に転じた原因の一つとして、「無料通話アプリの ID を交換する掲示板」(以下、ID 交換掲示板)を挙げている。報道によると、ID 交換掲示板に関連する事犯は急増しており、被害に遭った児童の数は、平成 25 年の 1 年間で 352 人にのぼり、前年の 36 人から 316 人も増えている。

【ID 交換掲示板とは】

無料通話アプリは、その ID を連絡先として通話やメッセージサービスが利用できるコミュニケーションツールである。現在、この無料通話アプリの ID を公開するための掲示板が、インターネット上に多数存在している。面識の無い相手と接触するためのもので、ID とともに「友達募集」「遊んで」などの短文を公開できるものもある。

2. 事犯に繋がる原因の考察

- ✓ ID 交換掲示板で ID を公開し、その後、無料通話アプリでやりとりするコミュニケーションの方法は、「出会い系サイト」と同等の機能となっている。

ID 交換掲示板の存在が多くの事犯に繋がっているのは、子供たち自身が安易に ID を公開してしまっている、もしくは面識の無い相手へ安易に接触していることが最大の原因である。しかし、ID 交換掲示板の特徴にも大きな原因があると思われる。

特徴の一点目として考えられるのが、悪用され易い ID 交換掲示板の情報公開の仕様である。具体的に言えば、ID 交換掲示板を利用して、悪意のある者が子供たちを誘い出すには、相手の居住地域、年齢、そして性別を知る必要がある。これは ID 交換掲示板に限ったことではないが、利用者の居住地域、年齢、性別を登録させて、それらを収集し易くする検索機能が搭載されているものは、それ以外のサービスに比べて、児童誘引に繋がるリスクが高いと言える。居住地域、年齢、性別の情報に加えて、さらに GPS の位置情報や、顔写真などの画像を不特定多数の利用者に向けて公開するサービスは、さらにリスクが高いといえる。

二点目は、コミュニケーションの環境である。主要な無料通話アプリは、知り合い同士のコミュニケーションに利用するものであり、無料通話アプリだけで全く面識の無い者と接触する可能性は低く、クローズな環境のコミュニケーションといえる。これに対して、ID 交換掲示板は ID の公開を目的としており、オープンな環境のコミュニケーションである。

オープンな掲示板で、接触到最低限必要な情報を公開し、以降のコミュニケーションはクローズな無料通話アプリにおいて行う。オープンからクローズに環境を変えてコミュニケーションを行うこの利用方法は、複数のサービスを介しているが故に一見わかり難いが、いわゆる出会い系サイトと同等の機能となっている。

オープンな環境で発生したリスクはクローズな環境で増大することとなる。クローズな環境下で行われるコミュニケーションは第三者の目に触れることは無く、青少年が保護を必要としている場合でも、保護者の目は届き難い状況になってしまうためである。

上記に挙げた特徴は、青少年の利用上のリスクに繋がりが易い。つまり、悪用され易いと考えられる。

3. ID 交換掲示板に関する調査の概要

EMA では、これまでコミュニティサイトの運用管理体制の審査・認定を行ってきた実績を元に、インターネットコミュニケーションに関する青少年利用の適正とリスクを計る一定の基準を設け、インターネット上に存在する多数の ID 交換掲示板に対して、体系的な分析調査を実施した。

次に挙げる確認ポイントを設定し、対象を ID 交換が可能と思われる多数の掲示板、中でも青少年への普及率の高いスマートフォン向けのアプリケーションとした。

有害情報の状況

情報の発信元が運営事業者であるか、ユーザーであるかにかかわらず、サービス内の有害情報の掲載状況について、以下の内容を確認。

- ・犯罪、自殺を誘引する情報
- ・わいせつな描写、その他性欲を著しく刺激する情報
- ・暴力等に関する陰惨な描写、その他著しく残虐な内容の情報
- ・広告等を介した青少年の健全な成長を阻害するおそれのあるサービス、商品の広告
- ・その他青少年の健全な成長を著しく阻害する情報

有害情報、および出会いに関連する情報へのアクセシビリティ

容易に有害情報にアクセスできる仕様、また、出会いに関連する情報（連絡先など）を容易に収集できる仕様、つまり有害情報、および出会いに関連する情報へのアクセシビリティ（アクセスのし易さ）という観点から、青少年の育成を阻害する恐れのある機能を提供していないか、以下の内容を確認。

- ・面識のない異性との交際を希望する者の求める情報へのアクセシビリティ
- ・犯罪へ児童を誘引する者が求める青少年に接触するための情報へのアクセシビリティ
- ・サイト外の有害情報へのアクセシビリティ

青少年利用を前提とした利用環境の整備状況

青少年の利用を前提とした利用環境の整備がなされているかについて、以下の内容を確認。

- ・対象年齢設定
- ・コミュニケーションに関するトラブル防止のための禁止行為の設定、周知
- ・禁止行為を行うユーザーに対するペナルティ制度の有無
- ・ユーザー間のトラブルに関する情報提供窓口の設置
- ・会員制度がある場合、利用規約の存在と同意
- ・問合せ窓口の設置
- ・ヘルプ、FAQ 等の整備

4. ID 交換掲示板に関する調査の結果

- ✓ 児童を誘引するために悪用しやすい仕様
- ✓ 形骸化している禁止事項
- ✓ 形骸化している年齢制限
- ✓ 青少年を保護するための運用管理体制が不在
- ✓ 青少年に不適切な広告を掲載

調査の結果、以下の青少年利用のリスクに関する傾向が明らかになった。

■ 児童の誘引に繋がる仕様

居住地、年齢、性別などの情報を公開し、それらの情報でユーザーを検索できるものが多数存在していた。前述したように、このような仕様は青少年利用におけるリスクとなりうるが、リスクを回避するために、一定条件の検索を制限するなどの何らかの方策が取られているものは見つからなかった。つまり、悪用されやすいものが多く見つかった。

■ 禁止事項の形骸化

ID 交換掲示板には、異性との出会い目的で利用することを規約などで禁止しているものが多数あったが、利用実態は必ずしもそれに則していなかった。特に、前述した居住地、年齢、性別で相手を検索できるものの多くでは、異性との出会いを求める書込みが多く、食事をおごってもらう目的などで掲示板に書き込み、児童が大人からの連絡を待つケースや、直截的に売買春を想起させる書込みも多く見つかった。禁止事項が設定されている場合には、それらの書込みは違反行為となるところだが、放置された状態となっており、禁止事項と言いつつも形骸化しているといえるものが多く、運営者が対外的な建て前として掲載していると思われるものが多かった。

■ 年齢制限の形骸化

年齢制限を設け、青少年の利用を禁止しているものもあったが、その場合でも、一目で青少年とわかる書込みが多く見つかった。また、アプリケーションをダウンロードするマーケットでは、年齢や習熟度に基づくレーティング情報が設定されているが、そのレーティング情報とアプリケーション内の年齢制限に矛盾があるものが多く見つかった。例えば、アプリケーション内では、年齢制限で18歳以上を対象としていても、マーケットのレーティングでは、習熟度や年齢に関係なく全ユーザーを対象としているケースがそれにあたる。この場合、スマートフォンのOS上で、アプリケーションの利用制限を設定していても、利

用制限は機能せずに、利用できてしまうことになる。

【OS 事業者のレーティング改善】

現在、アプリケーションのマーケットを運営する OS 事業者は、ID 交換掲示板などを中心に、適正なレーティングが設定されていないアプリケーションに関して、レーティングの補正等の改善を進めている。

このような OS 事業者の取組みに協力するため、EMA では、今回同様のアプリケーションに関する調査を継続的に実施し、青少年利用に不適切なアプリケーションの情報提供を計画しており、現在、Apple 社のレーティングの改善のために、定期的な情報提供を予定している。

■ 運用管理体制の不在

禁止事項や年齢制限を謳っていても、状況が伴わず違反行為が放置されているようであれば、禁止事項や年齢制限に基づく運用管理が実施されているとはいえない。コミュニティサイトは、利用者が情報を生成するものであり、必ずしも運営事業者の意図する通りの状況になるとは限らない。運営事業者が健全な利用環境を構築するつもりであれば、継続的な運用管理を行う必要がある。そうでなければ、禁止事項や年齢制限を設けても、やはり形骸化してしまうことになる。

■ 成人向け広告の掲載

ID 交換掲示板に掲載されている広告の多くが成人を対象としたものであり、アダルトコンテンツや出会い系サイトの広告が多く、青少年の利用に不適切なものが多く見つかった。運営事業者が青少年を対象としたサービス提供を行うつもりであれば、そのような広告は掲載するはずはない。

広告の掲載状況は、そのサービスが青少年利用に適しているか、運営事業者が青少年保護を意図しているかの判断するための一つの判断基準となる。

5. 青少年と保護者・学校・事業者等の関係者が対応すべきこと

- ✓ フィルタリング等を適切に利用すること
- ✓ 安易に ID 等の個人の情報を公開しないこと(安易に面識の無い人間と接触しないこと)

■ フィルタリングサービスの利用

ID 交換掲示板による青少年被害を防止するためには、スマートフォンにおいてもフィルタリングサービスの重要性を再認識し、適切なフィルタリングサービスの利用を青少年と保護者・学校・事業者等の関係者が進める必要がある。

【Android スマートフォンのフィルタリングサービス】

現在、各携帯電話会社等から Android スマートフォン向けにフィルタリングサービスが提供されており、このフィルタリングサービスには、不適切なアプリケーションの利用を制限するアプリケーションフィルタリング機能と不適切な Web サイトを閲覧できないように制限する Web フィルタリング機能がある。

新規に購入する端末はもちろん、既に利用中の機器でも、ほとんどの端末で利用できる。現在の利用状況を確認し、適切にフィルタリングサービスを適用して頂きたい。

各携帯電話会社の Android スマートフォンのフィルタリングサービス

NTT ドコモ： あんしんモード	https://www.nttdocomo.co.jp/service/safety/anshin_mode/ 「あんしんモード」と連携する web フィルタリング機能「ファミリーブラウザ for docomo」(ALSI/ネットスター社)： http://www.netstar-inc.com/sp/familybrowser.html
KDDI： 安心アクセス for Android	http://www.au.kddi.com/mobile/service/smartphone/safety/anshin-access/
ソフトバンクモバイル： スマホ安心サービス	http://www.softbank.jp/mobile/service/sp_safety/
ウィルコム： スマホ安心サービス	http://www.willcom-inc.com/ja/service/filtering/sp_safety/index.html
イー・アクセス： スマホ安心サービス	http://s.emobile.jp/service/option/safety/sp_safety/index.html

Wi-Fi 利用のみの Android 端末のフィルタリングサービス

Wi-Fi のみの利用で、携帯電話回線の利用が無い Android 端末 (スマートフォン、タブレット) でも、フィルタリング会社が提供している以下のフィルタリングサービスが利用できます。

デジタルアーツ : i-フィルター for Android	http://www.daj.jp/cs/products/smartphone/ifandroid/
----------------------------------	---

【iPhone (iOS 端末) の機能制限】

iPhone に関しては、iPhone のオペレーションシステムである iOS にアプリケーション等の機能制限を設定する機能がある。

iOS の機能制限には、アプリケーション等のコンテンツ利用の制限が含まれており、4+、9+、12+、17+からレートを設定することにより、青少年に応じた利用環境が構築できる。EMA の協力によって Apple 社では ID 交換掲示板のレーティング改善等による被害防止の施策を進めており、青少年の利用環境整備のため 12+以下 (4+ ~ 12+) の設定とすることが望ましい。

iOS の機能制限の設定では、専用のパスコードを設定し、保護者が管理することができる。

また、この機能制限は iOS の機能なので、iPhone だけでなく、iPod Touch や iPad においても有効である。

また、Web サイトの利用に関しては、Android スマートフォンと同様に、フィルタリングサービスを利用できる各種 Web ブラウザが携帯電話会社等から提供されている。これらの Web ブラウザをインストールし、iOS の機能制限によって、通常の Web ブラウザの起動を制限することにより、不適切な Web サイトを閲覧しないように制限することができる。

iOS 端末 (iPhone/iPad/ iPod touch) の機能制限

iOS: 機能制限	http://support.apple.com/kb/ht4213?viewlocale=ja_JP
-----------	---

各携帯電話会社の iPhone のフィルタリング Web ブラウザ

NTT ドコモ : ファミリーブラウザ for docomo (ALSI/ネットスター社)	http://www.netstar-inc.com/sp/familybrowser.html
KDDI : 安心アクセス for iOS	http://www.au.kddi.com/iphone/service/anshin/safety-access-for-ios/
ソフトバンクモバイル : Yahoo!あんしんねっと for SoftBank	http://www.softbank.jp/mobile/iphone/service/app/filtering/

Wi-Fi 利用のみの iOS 端末 (iPhone/iPad/ iPod touch) のフィルタリングサービス

Wi-Fi のみの利用で、携帯電話回線の利用が無い iOS 端末 (iPhone/iPad/ iPod touch) でも、フィルタリング会社が提供している以下のフィルタリングサービスが利用できます。

デジタルアーツ: i-フィルター for iOS	http://www.daj.jp/cs/products/smartphone/ifios/
-----------------------------	---

このようにスマートフォン等においても青少年の利用を前提とした機能が整備されてきている。青少年と保護者・学校・事業者等の関係者は今回の情報を参考に、青少年の利用環境の改善に取り組んで頂きたい。

■ ID 等の個人の情報を安易に公開してはならない

ID 交換掲示板に限らず、個人の情報を安易に公開してはならない。無料通話アプリの ID について、携帯電話の番号やメールアドレスほどのプライバシー性を認識していない子供たちが多いようであるが、子供たちを誘いだす悪意のある者にとっては、便利な無料通話アプリで接触するのは、電話やメールを使うより、むしろ都合が良い。また、居住地域や年齢からは個人を特定できないにしても、そもそも個人を特定することが目的ではなく、接触することが目的である場合には十分な情報であり、やはり悪用し易い情報である。つまり、子供たちは、ID 等の個人の情報を公開することのリスクをあらためて認識しなければならぬし、保護者はそれを指導しなければならない。

6. EMA の取組み

フィーチャーフォンからスマートフォンへ。デバイスの発達によって、青少年を取り巻くインターネットの環境は急速な変化を続けている。ソーシャルメディアは、青少年の間に深く浸透し、コミュニケーションのかたちも変化してきている。コミュニティサイトで発生しているトラブルは、大人にとっても未知なものが多く、青少年は予備知識なしに、インターネットの世界を体験しなければならないのが現状である。

EMA では、今後とも青少年に大きな影響が及ぼすだろうと思われる事柄を取り上げ、調査・分析をおこない、青少年や保護者・学校・事業者等の関係者に向けて情報を発信することにより、スマートフォン等においても青少年の安心・安全なインターネット利用環境の構築に努めてまいります。